

2019 夏休みすいせん図書

～本の森へ～

中学生

西東京市図書館



「この計画はひみつです」

ジヨナ・ウィンター 文 ジャネット・ウィンター 絵 さくまゆみこ 訳/鈴木出版

世界^{せ かい}から^{じゅう}ゆう^{しゅう}な^か科学^{がく}者^{しゃ}が、ひみつ^{ひみつ}の^{けい}計画^{けい}のため^{ため}に、名^なも^なない^な砂^さ漠^{ぼく}地^ち帯^{たい}にあ^あつめ^められ^れまし^した。科学^か者^がたち^ちは^は昼^{ひる}も^も夜^{よる}も^も研^{けん}究^{きゅう}をつ^つづ^づけ、^ち「ガ^がジ^ジェット^と（小^ちさな^な装^{そう}置^ち）」^あん^{ごう}という^い暗^{あん}号^{ごう}で^でよ^よば^ばれて^てい^いる^るもの^のを、^ひひ^ひそ^そか^かに^につ^つく^くて^てい^いまし^した。つ^つか^かっ^てい^いる^るの^のは、ウ^うラ^らン、そ^そし^して^てプ^ぷルト^とニ^にウ^うム。2^に年^{ねん}後^ご「ガ^がジ^ジェット^と」は^は完^{かん}成^{せい}し^しまし^した。

アメリカで原子爆弾が作られるまでを描いた絵本。



「キャプテンマークと銭湯と」

佐藤いつ子 作 佐藤真紀子 絵/KADOKAWA

周斗^{しゅうと}は、サッカークラブチームのキャプテン。しかし中^か学^{がく}2^に年^{ねん}にあ^あがる^がタイ^{たい}ミング^{ぎんぐ}で、コ^こーチ^ちから^から^らキャ^かプ^ぷテン^{てん}を^を替^かえ^えると^と告^こげ^げら^られる。不^ふ安^{あん}と^と苛^{いら}立^だち^ちの中^{ちゆう}、周斗^{しゅうと}は^は偶^{ぐう}然^{ぜん}、^あお^おさ^さな^なこ^ころ^ろ幼^{よう}い^い頃^{ころ}に^にサ^さッカ^かー^ーを^を教^けえ^えて^てく^くれ^れた^た祖^そ父^ふと^とよ^よく^く来^きた^た、^{なつ}懐^{なつ}か^かしい^い銭^{せん}湯^{とう}を^を訪^まね^ねる。好^{この}きな^なもの^のに^に打^{うち}込^こんで^てい^いる^るあ^あな^なだ^だに^に読^よんで^て欲^ほしい^い1^{いっ}冊^{そく}です。



「一〇五度」

佐藤まどか 著/あすなる書房

中高一貫校へ編入した大木戸^{おおきと}真^まは、中^{ちゅう}学^{がく}三年^{ねん}生^{せい}。

イス職人^{えいしきよう}だ^だった^たじい^いちゃん^{ちやう}の^の影^{えい}響^{きやう}も^もあ^あり、イ^いス^すが^が好^{この}き^きで、特^{とく}に^にデ^でザ^ざイン^{いん}に^に興^{きょう}味^みが^があ^ある。あ^ある^る日^{にち}学^{がく}校^{がく}図^ず書^{しょ}館^{かん}で^でイ^いス^すの^のデ^でザ^ざイン^{いん}に^に関^{かん}する^る本^{ほん}を^を読^よんで^てい^いた^た真^まは、ス^すラ^らッ^っクス^{くす}を^をは^はいた^た女^{にょ}子^し梨^り々^{ささ}と^と出^で会^{かい}い、『全^{ぜん}国^{こく}学^{がく}生^{せい}チ^ちェ^えア^あデ^でザ^ざイン^{いん}コ^こン^{こん}ペ』に^に挑^{てん}戦^{せん}す^する^るこ^こと^とに^にし^した。

ふ^ふだ^だん^だ何^{なに}気^げな^なく^く座^ざっ^てい^いる^る、イ^いス^すの^の奥^{おく}深^{しん}さ^さが^がわ^わか^かる^る本^{ほん}です。



「君だけのシネマ」

高田由紀子 作 pon-marsh 絵／PHP 研究所

中学受験に失敗した史織は、友だちとうまくいかず、不登校気味。そんな時に父から佐渡への転勤の話^{さど てんきん}をされ、「私も行きたい^{わたし}」と、とっさに答えた。今までの史織は、ずっと母のいいなりに過ごしてきた。祖母の映画館「風のシネマ」の手伝いをしながら、自分が「人が喜ぶ顔を見るのが好き」なことに気づく。やりたいことを見つめながら、成長していく中学生のお話。



「ぼくにだけ見えるジェシカ」

アンドリュー・ノリス 作 橋本恵 訳／徳間書店

ファッションに興味があるフランシスは、学校ではからかわれて友だちもない。ある日、フランシスがいつものようにベンチに座っていると、隣に少女^{となり}がやってきた。とても寒いのに薄着^{うすぎ}のその子にフランシスが話しかけると、少女は驚いていった。「だれにも見えないはずなのに！」なんと少女は、幽霊らしい！？



「ぼくがスカートをはく日」

エイミ・ポロンスキー 著 西田佳子 訳 まめふく 絵／学研プラス

12歳のグレイソンには、誰にも言えない秘密がある。それはお姫様の絵を描いたり、部屋の鏡の前で、金色のロングドレスを着た、女の子になった自分の姿を想像したりすること。

ある日、学校で演劇のオーディションが開催されることを知ったグレイソンは、それに申しこんだ。グレイソンが選んだのは、主役の女神「ペルセポネ」だった。



「くらべる世界」

おかべたかし 文 山出高士 写真／東京書籍

フランスでは「ジャンケン」で出す手が4種類って、知ってますか？日本のショートケーキは「フワフワ」だけどアメリカは「サクサク」。他にも「ポッキー」、 「城」、 「クリームソーダ」など、33項目の文化・風俗について世界の異なる2カ国間をくらべて解説しています。文化の違いを写真で楽しめる一冊です。



「おもしろい！料理の科学」

平松サリー 著／講談社

料理には、たくさんの科学の知識が使われています。石焼きいもが甘いのはどうして？卵料理はたくさんあるけれど、トロトロだったり、固まったりするのはなぜ？科学は難しくて苦手だけれど、お料理は好き！という人にもオススメです。

科学を使った、おもしろくておいしいレシピもたくさん載っています。



「劇場ってどんどころ？」

フロランス・デュカトー 文 シャンタル・ペタン 絵
岡室美奈子 日本語版監修 野坂悦子 訳／西村書店

劇場に行ったことがありますか？劇場のステージでは、まいにち、劇、バレエ、ダンスなど、様々な出し物が上演されます。それは華やかな世界ですが、舞台裏でも、実にたくさんの人が、ステージをささえるため、活躍しています。この本では、ふだんは見られないその舞台裏にご招待。また、「劇のチケットはなぜ高いの？」などなど、劇場のヒミツにせまります。

